



平成 27 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 江守グループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 江守 清隆
(コード：9963、東証第一部)
問合せ先 常務取締役グループ管理部門担当 揚原 安麿
(TEL 0776-36-9963)

(訂正)「平成 25 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 24 年 10 月 30 日に開示いたしました「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたので、お知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 27 年 3 月 16 日付『平成 27 年 3 月期第 3 四半期報告書の提出』および『過年度有価証券報告書等ならびに内部統制報告書の訂正報告書の提出に関するお知らせ』にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

【訂正後】



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 江守グループホールディングス株式会社

コード番号 9963 URL <http://www.emori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 清隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ管理部門担当 (氏名) 揚原 安麿 TEL 0776-36-9963

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	65,390	15.5	1,287	△8.5	1,158	△6.8	728	△2.7
24年3月期第2四半期	56,626	31.8	1,406	16.0	1,243	5.0	749	5.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,041百万円 (103.3%) 24年3月期第2四半期 512百万円 (△7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	69.44	—
24年3月期第2四半期	71.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	58,487	11,670	19.0
24年3月期	57,352	10,819	17.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,094百万円 24年3月期 10,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
25年3月期	—	17.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	21.00	38.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	12.1	3,200	18.3	2,900	14.5	1,900	12.5	181.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）EMORI PHILIPPINES, INC.、除外 1社（社名）－
（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	10,500,000株	24年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	8,163株	24年3月期	8,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	10,491,852株	24年3月期2Q	10,491,911株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に、景気に緩やかな回復傾向が見られましたが、欧州債務危機問題や原油高・円高に加え世界経済の減速懸念が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。また、近隣諸国との政治的緊張の高まりが与える影響も懸念されます。

このような状況の中、当社の主要報告セグメントである「ケミカル」セグメントでは、国内においては、電子材料等の販売は堅調に推移いたしました。長期化する円高の影響により輸出全般は減少傾向にあります。景気減速が鮮明になった中国においては、生産、在庫調整により荷動きが停滞いたしました。また、資源価格の市況も悪化し鉄鉱石等の販売が低調でした。タイの洪水で被災した子会社は、1月末に操業再開に漕ぎ着けたものの、未だフル稼働までには回復していないため営業損失の計上が続く、減益要因となりました。「情報機器」セグメントでは、リーマン・ショック後の大幅な投資抑制を経て、更新投資を中心に徐々に設備投資を増やす局面に入っている状況を捉え、増収増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は653億90百万円（前年同四半期比15.5%増）、営業利益は12億87百万円（同8.5%減）、経常利益は11億58百万円（同6.8%減）、四半期純利益は7億28百万円（同2.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ケミカル

当第2四半期連結累計期間の売上高は617億33百万円（同14.6%増）、セグメント利益（営業利益）は15億91百万円（同7.4%減）となりました。

国内では、スマートフォン向け電子材料及び住宅建材等の販売は堅調に推移いたしました。原発関連や電機業界向け販売は低迷いたしました。海外では、中国からインド向けの医薬中間体等の新規取引が増加いたしました。資源関連販売は市況悪化により低調な滑り出しとなりました。また、第1四半期連結累計期間同様、洪水で被災したTHAI USUI CO., LTD.の稼働率低迷により大幅な営業損失を計上した結果、減益となりました。

②情報機器

当第2四半期連結累計期間の売上高は25億19百万円（同44.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1億62百万円（同27.4%増）となりました。

今年2月に、当社より分社化された株式会社イー・アイ・エルの安定的な収益に加え、システム情報化投資全体も緩やかに持ち直してきており、大型案件等を獲得した結果、増収増益となりました。

③機械設備

当第2四半期連結累計期間の売上高は2億77百万円（同34.4%減）、セグメント利益（営業利益）は2百万円（同23.9%減）となりました。

大型工事案件が少なく減収となりましたが、セグメント利益は確保いたしました。

④その他

当第2四半期連結累計期間の売上高は8億60百万円（同41.4%増）、セグメント利益（営業利益）は12百万円（同863.3%増）となりました。

ダストコントロール商品のリースや保険サービス、メディア開発では全般的に厳しい状況が続きましたが、移動体通信機器の販売では、スマートフォンの販売が好調に推移いたしました結果、セグメント全体では増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億34百万円増加し、584億87百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより9億54百万円増加しました。固定資産は、有形及び無形固定資産の増加などにより1億80百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億84百万円増加し、468億17百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより1億27百万円増加しました。固定負債は、長期借入金の増加により1億56百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ8億50百万円増加し、116億70百万円となりました。利益剰余金が5億39百万円、為替換算調整勘定が4億78百万円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が1億61百万円減少しました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.2ポイント増加し19.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、53億25百万円となり、前連結会計年度末より13億49百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、26億50百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は13億88百万円の支出）となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益11億33百万円、その他営業資産の減少9億円及び保険金の受取額8億21百万円によるものであります。支出の主な要因は、法人税等の支払額4億75百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、4億98百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は2億38百万円の支出）となりました。これは主として、有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、32億2百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は18億36百万円の収入）となりました。これは主として、短期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

第1四半期連結会計期間において、新たにEMORI PHILIPPINES, INC. を設立したため、連結の範囲に含めておりません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**(減価償却方法の変更)**

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,674,625	5,325,205
受取手形及び売掛金	33,738,073	<u>35,739,925</u>
たな卸資産	6,307,192	6,564,918
繰延税金資産	239,151	267,096
その他	2,355,236	<u>2,376,108</u>
貸倒引当金	△35,000	△39,864
流動資産合計	<u>49,279,278</u>	<u>50,233,389</u>
固定資産		
有形固定資産	3,989,473	4,261,758
無形固定資産		
のれん	104,745	90,824
その他	313,073	427,669
無形固定資産合計	<u>417,818</u>	<u>518,493</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	3,373,358	3,191,797
繰延税金資産	51,880	57,067
その他	309,138	274,299
貸倒引当金	△67,993	△48,863
投資その他の資産合計	<u>3,666,383</u>	<u>3,474,300</u>
固定資産合計	<u>8,073,676</u>	<u>8,254,553</u>
資産合計	<u>57,352,954</u>	<u>58,487,943</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,467,529	17,009,967
短期借入金	19,826,774	15,840,575
1年内返済予定の長期借入金	1,425,609	1,759,160
未払法人税等	388,890	317,414
賞与引当金	307,268	383,120
その他	814,958	1,048,331
流動負債合計	36,231,030	36,358,568
固定負債		
長期借入金	9,352,741	9,545,960
繰延税金負債	716,177	676,943
再評価に係る繰延税金負債	68,730	68,730
退職給付引当金	35,852	40,889
役員退職慰労引当金	117,122	117,122
負ののれん	2,195	1,097
その他	9,168	7,776
固定負債合計	10,301,987	10,458,520
負債合計	46,533,017	46,817,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	799,320	799,320
資本剰余金	1,023,620	1,023,620
利益剰余金	8,416,815	8,956,557
自己株式	△1,770	△1,809
株主資本合計	10,237,985	10,777,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096,370	934,879
繰延ヘッジ損益	△963	△831
土地再評価差額金	125,422	125,422
為替換算調整勘定	△1,221,483	△742,628
その他の包括利益累計額合計	△653	316,842
少数株主持分	582,604	576,323
純資産合計	10,819,936	11,670,854
負債純資産合計	57,352,954	58,487,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	56,626,199	65,390,699
売上原価	52,608,948	61,466,590
売上総利益	4,017,250	3,924,109
販売費及び一般管理費	2,610,577	2,636,341
営業利益	1,406,673	1,287,767
営業外収益		
受取利息	4,459	40,610
受取配当金	35,952	40,230
持分法による投資利益	4,958	3,651
その他	42,250	54,793
営業外収益合計	87,620	139,286
営業外費用		
支払利息	181,107	200,445
その他	69,615	68,024
営業外費用合計	250,722	268,469
経常利益	1,243,571	1,158,584
特別利益		
固定資産売却益	4,535	1,185
特別利益合計	4,535	1,185
特別損失		
災害による損失	—	12,464
固定資産処分損	1,516	8,632
投資有価証券評価損	7,453	4,904
特別損失合計	8,970	26,001
税金等調整前四半期純利益	1,239,137	1,133,768
法人税、住民税及び事業税	479,128	401,166
法人税等調整額	△2,568	17,561
法人税等合計	476,559	418,728
少数株主損益調整前四半期純利益	762,577	715,039
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13,394	△13,555
四半期純利益	749,182	728,595

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	762,577	715,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123,303	△161,491
繰延ヘッジ損益	941	132
為替換算調整勘定	△125,169	486,887
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,535	1,192
その他の包括利益合計	△250,067	326,720
四半期包括利益	512,509	1,041,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	511,259	1,046,090
少数株主に係る四半期包括利益	1,250	△4,330

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,239,137	1,133,768
減価償却費	183,817	151,370
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,408	△14,757
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,936	76,130
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,694	4,937
受取利息及び受取配当金	△40,411	△80,841
支払利息	181,107	200,445
持分法による投資損益 (△は益)	△4,958	△3,651
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△3,019	7,447
災害損失	—	12,464
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,833,971	△1,655,960
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△824,530	△226,267
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,417,612	3,389,314
その他	1,871,660	△542,113
小計	△792,517	2,452,286
利息及び配当金の受取額	40,585	65,612
利息の支払額	△181,675	△212,609
法人税等の支払額	△455,133	△475,545
保険金の受取額	—	821,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,388,740	2,650,820
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△17,189	△68,148
有形及び無形固定資産の取得による支出	△216,958	△445,249
有形及び無形固定資産の売却による収入	4,750	2,635
その他	△9,492	12,603
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,890	△498,159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	350,131	△3,699,908
長期借入れによる収入	2,100,000	1,192,102
長期借入金の返済による支出	△377,600	△499,326
配当金の支払額	△209,838	△188,853
少数株主への配当金の支払額	△19,201	△1,950
その他	△6,967	△4,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,836,523	△3,202,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	△258,430	△299,351
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△49,537	△1,349,419
現金及び現金同等物の期首残高	5,383,323	6,674,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,333,785	5,325,205

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>53,847,280</u>	1,747,557	422,626	<u>56,017,464</u>	608,734	<u>56,626,199</u>	—	<u>56,626,199</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	10,726	26,846	73,835	111,408	103,312	214,720	△214,720	—
計	<u>53,858,006</u>	1,774,404	496,461	<u>56,128,873</u>	712,046	<u>56,840,919</u>	△214,720	<u>56,626,199</u>
セグメント利益	1,718,869	127,303	3,637	1,849,811	1,278	1,851,089	△444,415	1,406,673

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△444,415千円には、セグメント間取引消去34,806千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△479,222千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>61,733,509</u>	2,519,251	277,349	<u>64,530,110</u>	860,588	<u>65,390,699</u>	—	<u>65,390,699</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	13,247	75,826	119,958	209,032	111,524	320,556	△320,556	—
計	<u>61,746,756</u>	2,595,077	397,307	<u>64,739,142</u>	972,113	<u>65,711,256</u>	△320,556	<u>65,390,699</u>
セグメント利益	<u>1,591,260</u>	162,167	2,766	<u>1,756,195</u>	12,312	<u>1,768,507</u>	△480,739	<u>1,287,767</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△480,739千円には、セグメント間取引消去17,573千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△498,312千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【訂正前】



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 江守グループホールディングス株式会社

コード番号 9963 URL <http://www.emori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 清隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ管理部門担当 (氏名) 揚原 安麿 TEL 0776-36-9963

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	67,377	18.1	1,319	△6.2	1,158	△6.8	728	△2.7
24年3月期第2四半期	57,053	32.3	1,406	21.1	1,243	9.7	749	10.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,041百万円 (103.3%) 24年3月期第2四半期 512百万円 (△7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	69.44	—
24年3月期第2四半期	71.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	58,487	11,670	19.0
24年3月期	57,352	10,819	17.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 11,094百万円 24年3月期 10,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
25年3月期	—	17.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	21.00	38.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	11.4	3,200	18.3	2,900	14.5	1,900	12.5	181.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）EMORI PHILIPPINES, INC.、除外 1社（社名）－
 （注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	10,500,000株	24年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	8,163株	24年3月期	8,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	10,491,852株	24年3月期2Q	10,491,911株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に、景気に緩やかな回復傾向が見られましたが、欧州債務危機問題や原油高・円高に加え世界経済の減速懸念が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。また、近隣諸国との政治的緊張の高まりが与える影響も懸念されます。

このような状況の中、当社の主要報告セグメントである「ケミカル」セグメントでは、国内においては、電子材料等の販売は堅調に推移いたしましたが、長期化する円高の影響により輸出全般は減少傾向にあります。景気減速が鮮明になった中国においては、生産、在庫調整により荷動きが停滞いたしました。また、資源価格の市況も悪化し鉄鉱石等の販売が低調でした。タイの洪水で被災した子会社は、1月末に操業再開に漕ぎ着けたものの、未だフル稼働までには回復していないため営業損失の計上が続ぎ、減益要因となりました。「情報機器」セグメントでは、リーマン・ショック後の大幅な投資抑制を経て、更新投資を中心に徐々に設備投資を増やす局面に入っている状況を捉え、増収増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は673億77百万円（前年同四半期比18.1%増）、営業利益は13億19百万円（同6.2%減）、経常利益は11億58百万円（同6.8%減）、四半期純利益は7億28百万円（同2.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ケミカル

当第2四半期連結累計期間の売上高は637億20百万円（同17.4%増）、セグメント利益（営業利益）は16億22百万円（同5.6%減）となりました。

国内では、スマートフォン向け電子材料及び住宅建材等の販売は堅調に推移いたしましたが、原発関連や電機業界向け販売は低迷いたしました。海外では、中国からインド向けの医薬中間体等の新規取引が増加いたしました。また、資源関連販売は市況悪化により低調な滑り出しとなりました。また、第1四半期連結累計期間同様、洪水で被災したTHAI USUI CO., LTD.の稼働率低迷により大幅な営業損失を計上した結果、減益となりました。

②情報機器

当第2四半期連結累計期間の売上高は25億19百万円（同44.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1億62百万円（同27.4%増）となりました。

今年2月に、当社より分社化された株式会社イー・アイ・エルの安定的な収益に加え、システム情報化投資全体も緩やかに持ち直してきており、大型案件等を獲得した結果、増収増益となりました。

③機械設備

当第2四半期連結累計期間の売上高は2億77百万円（同34.4%減）、セグメント利益（営業利益）は2百万円（同23.9%減）となりました。

大型工事案件が少なく減収となりましたが、セグメント利益は確保いたしました。

④その他

当第2四半期連結累計期間の売上高は8億60百万円（同41.4%増）、セグメント利益（営業利益）は12百万円（同863.3%増）となりました。

ダストコントロール商品のリースや保険サービス、メディア開発では全般的に厳しい状況が続きましたが、移動体通信機器の販売では、スマートフォンの販売が好調に推移いたしました結果、セグメント全体では増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億34百万円増加し、584億87百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより9億54百万円増加しました。固定資産は、有形及び無形固定資産の増加などにより1億80百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億84百万円増加し、468億17百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより1億27百万円増加しました。固定負債は、長期借入金の増加により1億56百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ8億50百万円増加し、116億70百万円となりました。利益剰余金が5億39百万円、為替換算調整勘定が4億78百万円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が1億61百万円減少しました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.2ポイント増加し19.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、53億25百万円となり、前連結会計年度末より13億49百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、26億50百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は13億88百万円の支出）となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益11億33百万円、その他営業資産の減少9億円及び保険金の受取額8億21百万円によるものであります。支出の主な要因は、法人税等の支払額4億75百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、4億98百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は2億38百万円の支出）となりました。これは主として、有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、32億2百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は18億36百万円の収入）となりました。これは主として、短期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

第1四半期連結会計期間において、新たにEMORI PHILIPPINES, INC. を設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**(減価償却方法の変更)**

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,674,625	5,325,205
受取手形及び売掛金	33,738,073	<u>37,210,760</u>
たな卸資産	6,307,192	6,564,918
繰延税金資産	239,151	267,096
その他	2,355,236	<u>905,274</u>
貸倒引当金	△35,000	△39,864
流動資産合計	<u>49,279,278</u>	<u>50,233,389</u>
固定資産		
有形固定資産	3,989,473	4,261,758
無形固定資産		
のれん	104,745	90,824
その他	313,073	427,669
無形固定資産合計	<u>417,818</u>	<u>518,493</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	3,373,358	3,191,797
繰延税金資産	51,880	57,067
その他	309,138	274,299
貸倒引当金	△67,993	△48,863
投資その他の資産合計	<u>3,666,383</u>	<u>3,474,300</u>
固定資産合計	<u>8,073,676</u>	<u>8,254,553</u>
資産合計	<u>57,352,954</u>	<u>58,487,943</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,467,529	17,009,967
短期借入金	19,826,774	15,840,575
1年内返済予定の長期借入金	1,425,609	1,759,160
未払法人税等	388,890	317,414
賞与引当金	307,268	383,120
その他	814,958	1,048,331
流動負債合計	36,231,030	36,358,568
固定負債		
長期借入金	9,352,741	9,545,960
繰延税金負債	716,177	676,943
再評価に係る繰延税金負債	68,730	68,730
退職給付引当金	35,852	40,889
役員退職慰労引当金	117,122	117,122
負ののれん	2,195	1,097
その他	9,168	7,776
固定負債合計	10,301,987	10,458,520
負債合計	46,533,017	46,817,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	799,320	799,320
資本剰余金	1,023,620	1,023,620
利益剰余金	8,416,815	8,956,557
自己株式	△1,770	△1,809
株主資本合計	10,237,985	10,777,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096,370	934,879
繰延ヘッジ損益	△963	△831
土地再評価差額金	125,422	125,422
為替換算調整勘定	△1,221,483	△742,628
その他の包括利益累計額合計	△653	316,842
少数株主持分	582,604	576,323
純資産合計	10,819,936	11,670,854
負債純資産合計	57,352,954	58,487,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	57,053,958	67,377,199
売上原価	53,036,707	63,421,607
売上総利益	4,017,250	3,955,591
販売費及び一般管理費	2,610,577	2,636,341
営業利益	1,406,673	1,319,250
営業外収益		
受取利息	4,459	9,127
受取配当金	35,952	40,230
持分法による投資利益	4,958	3,651
その他	42,250	54,793
営業外収益合計	87,620	107,804
営業外費用		
支払利息	181,107	200,445
その他	69,615	68,024
営業外費用合計	250,722	268,469
経常利益	1,243,571	1,158,584
特別利益		
固定資産売却益	4,535	1,185
特別利益合計	4,535	1,185
特別損失		
災害による損失	—	12,464
固定資産処分損	1,516	8,632
投資有価証券評価損	7,453	4,904
特別損失合計	8,970	26,001
税金等調整前四半期純利益	1,239,137	1,133,768
法人税、住民税及び事業税	479,128	401,166
法人税等調整額	△2,568	17,561
法人税等合計	476,559	418,728
少数株主損益調整前四半期純利益	762,577	715,039
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13,394	△13,555
四半期純利益	749,182	728,595

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	762,577	715,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123,303	△161,491
繰延ヘッジ損益	941	132
為替換算調整勘定	△125,169	486,887
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,535	1,192
その他の包括利益合計	△250,067	326,720
四半期包括利益	512,509	1,041,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	511,259	1,046,090
少数株主に係る四半期包括利益	1,250	△4,330

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,239,137	1,133,768
減価償却費	183,817	151,370
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,408	△14,757
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,936	76,130
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,694	4,937
受取利息及び受取配当金	△40,411	<u>△49,358</u>
支払利息	181,107	200,445
持分法による投資損益 (△は益)	△4,958	△3,651
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△3,019	7,447
災害損失	—	12,464
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,833,971	<u>△3,126,795</u>
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△824,530	△226,267
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,417,612	3,389,314
その他	1,871,660	<u>900,634</u>
小計	<u>△792,517</u>	<u>2,455,682</u>
利息及び配当金の受取額	40,585	<u>62,216</u>
利息の支払額	△181,675	△212,609
法人税等の支払額	△455,133	△475,545
保険金の受取額	—	821,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,388,740</u>	<u>2,650,820</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△17,189	△68,148
有形及び無形固定資産の取得による支出	△216,958	△445,249
有形及び無形固定資産の売却による収入	4,750	2,635
その他	△9,492	12,603
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△238,890</u>	<u>△498,159</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	350,131	△3,699,908
長期借入れによる収入	2,100,000	1,192,102
長期借入金の返済による支出	△377,600	△499,326
配当金の支払額	△209,838	△188,853
少数株主への配当金の支払額	△19,201	△1,950
その他	△6,967	△4,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>1,836,523</u>	<u>△3,202,728</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△258,430	△299,351
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>△49,537</u>	<u>△1,349,419</u>
現金及び現金同等物の期首残高	5,383,323	6,674,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>5,333,785</u>	<u>5,325,205</u>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>54,275,039</u>	1,747,557	422,626	<u>56,445,224</u>	608,734	<u>57,053,958</u>	—	<u>57,053,958</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	10,726	26,846	73,835	111,408	103,312	214,720	△214,720	—
計	<u>54,285,766</u>	1,774,404	496,461	<u>56,556,632</u>	712,046	<u>57,268,679</u>	△214,720	<u>57,053,958</u>
セグメント利益	1,718,869	127,303	3,637	1,849,811	1,278	1,851,089	△444,415	1,406,673

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△444,415千円には、セグメント間取引消去34,806千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△479,222千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>63,720,009</u>	2,519,251	277,349	<u>66,516,610</u>	860,588	<u>67,377,199</u>	—	<u>67,377,199</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	13,247	75,826	119,958	209,032	111,524	320,556	△320,556	—
計	<u>63,733,256</u>	2,595,077	397,307	<u>66,725,642</u>	972,113	<u>67,697,756</u>	△320,556	<u>67,377,199</u>
セグメント利益	<u>1,622,742</u>	162,167	2,766	<u>1,787,677</u>	12,312	<u>1,799,989</u>	△480,739	<u>1,319,250</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△480,739千円には、セグメント間取引消去17,573千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△498,312千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。